

茅ヶ崎市農業委員会 農地利用最適化推進委員の推薦及び応募の状況(最終公表)

受付	区域	氏名	性別	年齢	職業	被推薦者(推薦を受ける者)				推薦者(推薦する者)					
						経 歴		農業経営の状況		認定農業者の認定を受けているか	団体:名称及び役職名等 個人:職業、年齢、性別	氏名	推薦または応募理由	重複 推薦	
						年月	職名、役職等	営農類型	耕作 面積[a]						
1	4	内田 信行	男	74	農業	昭和48年8月 令和5年7月	～平成28年3月 ～令和8年7月	神奈川県企業庁 事務職 茅ヶ崎市農地利用最適化推進委員	露地野菜 (タマネギ、ジャガイモ、小松菜)	8	受けていない	(自薦)	-	一期3年近くを農地利用最適化推進委員として初めて活動しましたが、充分に出来ていなかったと思われるため、再度応募するものです。	-
2	3 4 5	所 儀一	男	45	農業 会社員	平成16年10月 平成19年4月 平成20年8月 平成22年1月	～平成19年3月 ～平成20年8月 ～平成21年12月 ～平成26年9月	日本新生ソフト株式会社 入社(ナビ開発部) フリーエンジニア(個人事業主としてナビ開発請負) 株式会社メディアラヴ 入社(情報サービスグループ) AZAPA株式会社 入社(グローバルビジネス事業部) ・平成22年10月 中国AZAPA株式会社 設立 ・平成24年1月 AZAPA R&Dアメリカ 設立 AUMOVIO株式会社 入社(先進運転支援システム部) 藤沢市大庭を中心に露地野菜・粟(果樹)の営農開始 ・粟の栽培管理(剪定、施肥、防除、草刈り等)を実施 ・収穫物をちがさき道の駅および個人へ販売 ・耕作放棄地の除草作業の手伝い等、地域農地の維持活動に参加 ・児童養護施設「白十字」へ野菜等の寄付および農作業体験の機会提供	露地野菜、果樹 (粟、ヘーゼルナッツ、ホップ等)	40	受けていない	(自薦)	-	私は藤沢市大庭において粟を中心とした果樹を耕作する兼業農家です。収穫した作物は道の駅や個人への販売を行っており、地域農業の現状や流通の実情を日々実感しています。農地の維持や担い手不足といった課題を身近に感じの中で、農地利用最適化推進委員として現場の状況把握や所有者との意向確認に携わり、農業委員会と連携しながら農地の有効利用に貢献したいと考え応募いたしました。	-
3	2	生川 仁	男	67	農業	昭和54年4月1日 平成8年4月1日 平成19年4月1日 平成29年7月	～ ～平成9年3月31日 ～平成20年3月31日 ～令和8年7月	就農 堤上生産組合長及び茅ヶ崎市農業嘱託員 堤上生産組合長及び茅ヶ崎市農業嘱託員 茅ヶ崎市農地利用最適化推進委員(9年間)	水稲、露地野菜 (大根)	60	受けていない	堤上生産組合	八幡 浩司	学校卒業後、長期間農業に従事している為、地域の農業を熟知している。	-
4	1	市川 芳男	男	74	農業	昭和45年4月 昭和60年5月 平成元年5月 令和5年7月	～昭和58年4月 ～昭和64年4月 ～現在 ～現在	アンリツ(株)勤務 トヨコムエンジニアリング(株)勤務 農業 茅ヶ崎市農地利用最適化推進委員	露地野菜、果樹 (ナス、キュウリ、さつまいも、じゃがいも、柿)	50	受けていない	芹沢東部生産組合	市川 隆雄	長い間農業に携わっており、地域農業を向上させることに対し、積極的で、芹沢東部生産組合で活躍している。最適化推進委員を一期経験しており、もう一期、得た知識を活かして、地域農業の維持、環境を守って欲しい。	-
5	3	三橋 清高	男	48	農業	平成12年4月 平成14年4月 令和2年7月 令和5年7月	～平成12年3月 ～平成14年3月 ～ ～令和5年7月 ～令和8年7月	帝京大学経済学部経済学科 かながわ農業アカデミー 就農 茅ヶ崎市農業委員 茅ヶ崎市農地利用最適化推進委員	露地野菜 (スイートコーン、エダマメ、ほか)	320	受けていた	(自薦)	-	意欲ある農業経営体や担い手への集積・集約化を推進し、農地利用最適化推進委員として農地行政に貢献することで、地域防災、市単位での食料安全保障、市政方針にもあった学校給食の充実等をより良く改善の方向へ導きたいと志した為。	-
6	5	平牧 直樹	男	69	農業	昭和51年4月1日 平成18年5月1日 平成26年7月20日 平成31年3月1日 令和2年7月20日 令和5年3月1日	～昭和54年3月31日 ～現在 ～平成29年7月10日 ～令和2年2月28日 ～現在 ～令和6年2月28日	東京農業大学農業経済学科 就農 茅ヶ崎市農業委員 柳島生産組合長 茅ヶ崎市農地利用最適化推進員(6年) 柳島生産組合長	露地野菜 (タマネギ、ジャガイモ、ナス、トマト)	26	受けていない	柳島生産組合	青木 弘文	平牧直樹氏は、農業委員や柳島生産組合長を歴任された農業振興のスペシャリストです。現在は農地利用最適化推進委員として現場の課題解決に尽力されており、その知見は極めて豊富です。また、自治会長を勤められた経験から地域住民との信頼関係も深く、調整能力にも長けています。豊富な実務経験と地元とのネットワークを活かし、本市の農地守り手として最適な人材であるため、強く推薦いたします。	-